

本時の学習

(1) 目標

はしたの表し方を考えることにより、小数の意味を理解することができる。

(2) 学習過程

学習活動	児童の活動・予想される意識	教師の支援
1 問題場面をつかむ。	どのびんが一番多く水が入っているのかな。一番少ないのはどれかな。	6本のピンを用意し、かさくらべをすることを呼びかける。
2 目盛りのないますで測る。	私の班のピンはどれくらい入っているのかな。 1 dlとはしたの量が入っていたよ。	かさくらべの手順を説明する。 後でかさくらべの結果を全体の場で話し合うため、各班に1枚ずつカードをわたす。 調べた結果を各自で書くためのワークシートを用意する。
3 かさくらべの結果を話し合う。	はしたの2杯目は目盛りがないから書きにくいな。 同じ班のピンの水の量を書いているのに、量が違っているよ。 これではかさくらべはできないよ。もっと細かい目盛りが必要だ。 私の班のピンは3つに分けた1つ分入っていたから、3等分の目盛りはどうかしら。 なるべく細かい目盛りが良いと思うので、100に分けるといのはどうか。	はしたの書き表し方があやふやなことに注目させ、もっと細かい目盛りが必要であることに気づかせる。
4 0.1 dlの意味を知る。	大きい数の勉強で「10で割ると位が一つ下がる」と習ったよ。1 dlという単位では表せないのだから、10で割って新しい単位を作ろう。	10で区切ると良いことに気づかせるために、教室背面に位取りの表を掲示しておく。
5 目盛りのついたますで測る。	今度は0.1のいくつ分ではしたを表してみよう。 さっきよりもよく分かる表し方になったよ。0.1という数は便利だなあ。	初めにわたしたピンと同じ物をわたし、もう一度かさ調べをしようと呼びかける。
6 小数、小数点、小数第1位、整数などの用語を知る。	小数の秘密がいっぱい分かったよ。他にも小数を使って表している数があるかな。さがしてみよう。	これまでに取り扱った具体的な数を取り上げ、それぞれの用語を説明する。 教室の掲示に小数を使った身近なものを用意しておく。

(3) 評価

- ・はしたの表し方を進んで考えることができたか。
- ・はしたの量を0.1のいくつ分と考え、小数で表すことができたか。